川野 晃裕 ウズベキスタン

(理学療法士・2018年度2次隊・東京都世田谷区)



[ウズベキスタン共和国]





ウズベキスタン共和国の概要

1.面 積:44万7400平方キロメートル(日本の1.2倍) 2.人 口:3,280万人(2019年:国連人口基金)

3. 首 都: タシケント

4.民 族:ウズベク系(84.3%),タジク系(4.8%),カザフ系(2.4%),

カラカルパク系(2.2%), ロシア系(2.1%)

5. 言 語: ウズベク語, ロシア語

6.宗 教:主としてイスラム教スンニ派 7.通 貨:スム(2020年現在 100スム=1円)

8. 主要産業:綿繊維産業、食品加工、機械製作、金、石油、天然ガス

[お気に入りのグルメ(食)]



「オシュ」 (別名 プロフ)

「シャシリク」

焼き鳥のように見えますが・・・・ 巨大な串を使った肉の ボリュームは桁違い!

イスラム教徒が多い ウズベキスタンでは 羊肉・牛肉がメインで 販売されています。

クミンを使ったエスニッ クな味付けは駐在日本人 にも人気で、ビールなど のお酒にもよく合います。



[私の任地]

1. 任地の名前: タシケント州キブライ郡

2. 任地の人口:首都タシケントの人口259万人(2020年:政府報告)

3. 首都からのアクセス:首都中心街からのアクセス:バスで40分

4. 庶民の足 : バス首都内はどこまで乗っても1回約15円

タクシー(1回50~200円程度)

地下鉄(中心街には3路線、どこまで乗っても15円)

5.物 価:パン一斤2~30円、人参1本5~10円、

食堂の定価100~200円

6. 街の様子 : 首都中心街はショッピングモールが多数あり途上国感

はありませんが、郊外はインフラが不安定な場所が多

را_ه

[活動内容]

子どもたちのリハビリ



活動先は首都タシケント郊外の国立小児リハビリテーションセンターです。主に脳性麻痺やダウン症など障害をもった子どもたちのリハビリ(運動療法)に関わっていました。当国は世界理学療法連盟(加盟国110カ国)に加盟しておらず、リハビリ最後進国の1つです。実施している内容も医学的根拠に乏しい状況です。活動は子どもたちへ直接リハビリを行いつつ、資料作成や日本からの道具(装具)提供も行いました。同センターの活動以外に、他施設でのセミナーや技術指導を行い、理学療法やリハビリテーションの全国的な普及活動を行いました。

新規施設での出張指導



2019年の就学前教育省創設により、地方に幼稚園とリハビリ施設が併設された施設ができ、短期間の出張にて技術指導を行いました。

障がい児幼稚園において障がい児教育に関するセミナー



「障がい児と遊ぶ際にはどういった配慮が必要か」を考えてもらうために、現地にあるものを使って障がい児の身体の体験をしてもらいました。このセミナーには全国から約60名の参加がありました。